

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 徳田幸子

山名	ポンポン山～天王山	山行名	
ルート	出灰バス停―戸陀寺跡―ポンポン山―釈迦岳―楊谷寺―乗願寺―天王山―酒解神社―宝積寺―JR 大山崎駅		
山行日	2016年1月24日	天候	晴れ
参加者	リーダー： 徳田幸子 サブリーダー： 山田禎子 男性： 赤松 秋月 小川 中田 広瀬 中島 女性： 伊藤典子 上田秀子 大林 長野 合計 12名		

## ルート概略図



## コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
出灰バス停	集	8：45	楊谷寺	着	
	発			発	
戸陀寺跡	着	9：15	乗願寺	着	13：45
	発			発	
ポンポン山	着	10：25	天王山	着	14：45
	発	10：45		発	
実技・昼食	着	11：00	宝積寺	着	
	発	11：50		発	15：20
釈迦岳	着	12：00	JR 大山崎駅	着	15：42
	発			発	

## 山行報告

今日の天気は「この冬一番の冷え込み」との天気予報でのなかポンポン山に登る。出灰バス停の気温はマイナス3度。戸陀寺跡の広場で体操をしたら少し身体が暖まった気がする。急な山道を登り、山頂近くになると薄っすらと雪が積もっている。滑らないように気をつけながらポンポン山の頂上に着く。寒いながらも天気は快晴で見晴らしは良好である。

「ポンポン」と音は聞こえたかどうかな？

ポンポン山と釈迦岳の間にある鉄塔で急遽、日帰り装備の三角布を使って「捻挫」の処置、ツェルト、カラビナ等を利用して「低体温症」の訓練らしきものをする。みなさん少しは役に立ったかな？

昼食後寒いので早々出発をする。尾根道は雪が凍っているのに皆さん歩くのが上手で滑ることなく無事でした。車道を20分くらい歩き今度は天王山の山道に入る。登りになると少し暖くなるが汗もかかない状態。

天王山から少し下ると見晴らし台があり松井山手のマンションがはっきり見える「〇〇さんがこっちを見ている。見たくなかったのに」とか？好き放題に勝手に言っています。〇〇さんクシャミはでませんでした？そんなかんだで寒い一日でしたが心の中は温かい一日でした。

ヒヤリハット：無し

中田 繁男

天気予報は寒波が近畿一体に広がり、雪模様が予想されていましたが、早朝から冬型の快晴でホッとしました。身近なポンポン山には登ったことがなく一度は行きたいと思っていましたから、早々一番に申し込みました。京都駅で待ち合わせてJR高槻駅に到着、バスで出灰（いづりは）停留所までむかいました。途中は市街地から山中に向かいじわじわと寒さが（-4℃）の表示が見えてきました。

「いづりは、いづりは」どちらが正しいのか分かりませんが到着です。準備体操の後出発して、舗装道路沿いを歩くと登山口の表示が見えました。山頂まで一本道。雑木の中を進んで行くと薄っすらと雪が見え始めた。樹林帯が消えた処にポンポン山頂に到着。山の由来を聞いていたので皆さん山頂で



踏みすれどポンポンと音はしません。展望は素晴らしく北東の京都市街地、南に淀川が冬の澄んだ大気の中良く見えて暫しの休憩です。次に釈迦岳に向かい東海自然歩道を東に行くと高圧線の鉄塔が見えてきました。丁度鉄塔の下に日当たりが良い広場があります。CL徳田さんがここで休憩しましょう。お昼にはまだ早い時間帯ですがいきなりCLから「寸劇」をします。???急に足首を押えて「いたたた!!」だれか三角巾もっていませんか!なんと救急治療の練習です。事前の聞いてましたが驚きました。その後ツェルトに包まったり普段使わない物をためして楽しみ

ました。(不謹慎)その後昼食を終えて歩きだして1班が先に行き出して釈迦岳を通り越してます。柳谷観音までアスハルト道をだらだら一気に下る。単調な行程に足が痛い。アップダウンのある竹林はハイキングコースで天王山まで続き酒解神社から宝積寺に着いた。途中で頂いたおはぎは大林さんの手作りに感謝です。きなこも食べたいとわがまま言って困らせました。ごめんなさい!!(笑・笑)JR大山崎駅が下山した所で皆さん無事乗車出来た。近場でポピュラーなポンポン山はオールシーズン登れますので夏山もいかな・・・CL, SLの皆さんお世話になりました。

